

第35回日本化粧品学会 プログラム

日 時：2010年6月3日(木), 4日(金)
場 所：有楽町朝日ホール
東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 11F Tel.03-3284-0131
交 通：JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅、
東京メトロ(有楽町線)有楽町駅、
東京メトロ(丸ノ内線・銀座線・日比谷線)銀座駅 下車徒歩1~2分
主 催：日本化粧品学会
協 賛：日本化粧品工業連合会
会 頭：川田 暁(近畿大)
副 会 頭：堀 公彦(花王)
大会参加費：会 員(事前)：10,000円, 会 員(当日)：12,000円
：非会員(事前)：13,000円, 非会員(当日)：15,000円
：学 生(当日のみ・要旨集込)：2,000円(要学生証提示)
懇 親 会：2010年6月3日(木) 18:30~ 東京會館 会費8,000円
参 加 予 約：Web受付 2010年4月初旬開始~2010年5月10日(月)締切
<http://www.jcss.jp/> (Web要領は同サイトにてダウンロードいただけます)

メインテーマ：『化粧品の新たな生活・文化価値を目指して』
皮膚・化粧品を様々な角度、新しい視点から捉え、化粧品の持つ可能性と有用性を考える。

2010年6月3日(木) 1日目

9:30~ 9:35 開会挨拶 会頭 川田 暁(近畿大)

9:35~10:25 一般研究演題(I) 4題(発表8分, 質疑4分)
座長：杉林堅次(城西大), 千葉勝由(ヤクルト)

R01 表皮における新規不全角化原因因子の解明と肌質改善剤の開発

○片桐千華, 菅原美郷, 金子摩紀, 飯田年以, 上沼三紀子, 末継 勝, 仲西城太郎, 日比野利彦
(資生堂・リサーチセ)

R02 ブクリョウによるセラミド合成促進作用

○八戸章太, 成清沙織, 西川恵美, 相生章博(セブテム総研・バイオ研)

R03 IGF-1/IGFBP-3 シグナルは頬の毛穴目立ちに関与する

○中桐頼子¹, 直江綾乃², 八谷 輝¹, 大内 敦¹, 北原 隆¹ (¹花王・生物科学研, ²花王・解析科学研)

R04 毛穴の表面形状と内部構造の解析

○水越興治¹, 及川みどり¹, 平山賢哉¹, 高橋和宏² (¹ポーラ・研, ²岩手医科大・皮膚)

10:25~10:55 会頭講演 座長：中村陽子(湧永製薬)

「紫外線から肌を守り、いつまでも美しく」~皮膚科医から化粧品業界に望むこと~
川田 暁(近畿大)

10:55~11:45 一般研究演題(II) 4題(発表8分, 質疑4分)

座長：高橋元次(MTコンサルティング), 翠川辰行(ライオン)

R05 ヒト角層細胞間脂質充填構造の熱特性と製剤成分適用の影響

○小幡蒼子¹, 八田一郎², 太田 昇², 八木直人², 高山幸三¹ (¹星薬科大, ²SPring-8/JASRI)

R06 ヒト角層細胞中の水分量の細胞間脂質を介した調節機構

中沢寛光¹, 太田 昇², 八田一郎² (¹関西学院大, ²SPring-8/JASRI)

R07 ラマンスペクトル解析による角層厚計測

○清水教男¹, 中川典昭¹, 尾藤宏達², 内藤 智², 酒井進吾¹
(¹カネボウ化粧品・価値創成研,²花王・解析科学研)

R08 香料成分の皮膚透過性に及ぼす香料と基材の物理化学的性質の影響

○須釜 猛, 押坂勇志, 藤堂浩明, 杉林堅次 (城西大・薬)

11:45~13:55 昼休み(130分)

ポスターセッション9題 (責任在席: 12:45~13:55 70分)

P01 セラミド含有脂質二重膜の脂質充填構造の定性的解析

○渡邊大至¹, 小幡誉子¹, 石田賢哉², 高山幸三¹ (¹星薬科大,²高砂香料工業)

P02 低酸素分圧における表皮角化細胞の増殖特性解析

○厚木 徹, 猪又 顕, 畑 毅, 増永卓司 (コーセー・研)

P03 擬似セラミド(PCE)/擬似スフィンゴシン(PSP)乳化製剤による皮膚浸透性の向上と皮膚バリア能の改善

○湯山 暁¹, 細川 勝¹, 川田裕三¹, 佐野友彦² (¹花王・ビューティケア研究セ,²花王・生物科学研)

P04 目尻シワの三次元個別解析による新規分類法の開発

○原 祐輔, 舛田勇二, 大栗基樹, 平尾哲二 (資生堂・リサーチセ)

P05 ナノ化粧品の安全性確保および安全なナノ化粧品の開発に向けて-2:ナノマテリアルの粒子径と免疫系への影響

○吉岡靖雄^{1,2}, 吉川友章^{2,3}, 長野一也², 阿部康弘², 鎌田春彦², 今澤孝喜⁴, 伊藤徳夫³, 角田慎一^{1,2,5}, 堤 康央^{1,2,3} (¹大阪大・臨床医工学融合研究教育セ,²医薬基盤研究所・創薬プロテオミクス,³大阪大・薬・毒性学,⁴医薬基盤研究所・共同実験機器,⁵大阪大連携大院・薬・医薬基盤科学)

P06 深部マッサージによる顔面部皮下組織の変化

○大塚真由美¹, 風間治仁², 堀田光行¹, 棚橋昌則², 北原 隆¹
(¹花王・生物科学研,²花王・総合美容技術研)

P07 グリシルグリシンのイオンフォレーシスの最適化と毛穴の目立ちに対する改善効果

○三宅明子¹, 松永由紀子¹, 小野寺智子¹, 才脇卓也¹, 針谷 毅¹, 服部英子²
(¹資生堂・リサーチセ,²南青山皮膚科スキンナビクリニック)

P08 低分子量γ-ポリグルタミン酸の抗老化素材としての可能性

○北村和之¹, 情野治良¹, 藤原茂久¹, 濱田和彦¹, 宇山 浩², 岩本美絵³, 成 文喜^{3,4}
(¹ピアス・中央研,²大阪大院・工学研,³バイオリダーズ,⁴国民大)

P09 PVP 包接フラーレンとプロビタミン C(AA2G),アスタキサンチンの併用による抗酸化効果および紫外線傷害抑制効果

○斉藤靖和¹, 加藤信哉¹, 角井雅之¹, 青島央江², 平良 光², 山名修一², 三羽信比古¹
(¹県立広島大・生命環境,²ビタミン C60 バイオリサーチ)

13:55~14:45 一般研究演題(Ⅲ) 4題 (発表8分, 質疑4分)

座長: 徳永裕司 (医薬品医療機器総合機構), 丹野 修 (カネボウ)

R09 身体的外見に特異的な新しい国際 QOL 尺度の開発と受容性: BeautyQol

○津谷喜一郎¹, Ariel Beresniak², Pascal Auquier³, Gerard Duru⁴, Gerarld G. Kruege⁵, Sergio Talarico⁶, Yolaine de Linares⁷, Genevieve Berger⁸ (¹東京大・薬・医薬政策学,²Data Mining International,³University of Aix-Marseille,⁴National Centre of Scientific Research,⁵University of Utah,⁶Sociedade Brasileira de Dermatologia,⁷L'Oréal,⁸Pierre&Marie Curie University)

R10 ナノ化粧品の安全性確保および安全なナノ化粧品の開発に向けて-1: ナノマテリアルの表面性状が血液凝固系に与える影響

○吉川友章^{1,2}, 吉岡靖雄^{2,4}, 長野一也², 阿部康弘², 鎌田春彦^{2,4}, 今澤孝喜⁵, 伊藤徳夫^{1,2}, 角田慎一^{2,3,4}, 堤 康央^{1,2,4} (¹大阪大・薬・毒性学,²医薬基盤研究所・創薬プロテオミクス,⁴大阪大・臨床医工学融合研究教育セ,⁵医薬基盤研究所・共同実験機器,³大阪大・連携大院・薬・医薬基盤科学)

R11 化粧品による接触皮膚炎を疑いパッチテストを行った症例 2009年のまとめ

○古田加奈子¹, 伊佐見真実子¹, 矢上品子¹, 鶴田京子¹, 田中 紅², 美浦麻衣子¹, 廣川景子³, 亀山梨奈¹, 稲葉弥寿子¹, 鈴木加余子³, 松永佳世子¹

(¹藤田保健衛生大・医・皮膚,²津島市民病院・皮膚,³刈谷豊田総合病院・皮膚)

R12 高感受性パネルを対象とした感覚刺激性評価法に関する検討

○小坂七重, 高橋 豊, 坂口 斉, 西山直宏 (花王・安全性評価研)

14:45~15:30 特別講演 I 座長: 川田 暁 (近畿大)

「いい顔とは何か? -生活の中の顔-」

原島 博 (東京大名誉教授/日本顔学会)

15:30~15:45 休憩 (15分)

15:45~17:45 シンポジウム I 「化粧品における生活・文化価値を考える」

座長: 江藤隆史 (東京逡信病院), 小出千春 (コーセー)

1. 「触覚のメカニズムと触感の評価」 前野隆司 (慶應大院・システムデザイン・マネジメント研究科)
2. 「化粧する脳」 猿渡敬志 (カネボウ化粧品・価値創成研究所)
3. 「香りと快適性研究」 片山 敦 (花王・香料開発研究所)
4. 「肌の文化」 鈴森正幸 (ポーラ文化研究所)

17:45~18:00 理事長挨拶 川島 眞 (東京女子医大)

18:30~ 懇親会 (東京會館)

2010年6月4日(金) 2日目

9:30~10:00 総会

10:00~10:15 第4回優秀論文賞受賞講演 座長: 溝口昌子 (聖マリアンナ医科大)

10:15~11:30 一般研究演題 (IV) 6題 (発表8分, 質疑4分)

座長: 芋川玄爾 (東京工科大), 正木 仁 (コスモステクニカルセンター)

R13 画像解析による重層剥離評価法

○濱口雅則¹, 和田 真², 服部文弘¹, 野村重雄¹, 前山 薫¹, 野呂哲也¹, 岡本暉公彦¹

(¹御木本製薬・研究・開発,²順天堂大・医)

R14 fNIRS を用いたマッサージと脳血流の関係

○中島紀子¹, 山口由衣², 奥村秀信¹ (¹ノエビア・研究開発,²島津製作所・fNIRS グループ)

R15 NADH dehydrogenase の低下はシミの形成に関与する

○中間満雄, 村上祐子, 田中 浩, 中田 悟 (日本メナード化粧品・総合研)

R16 HSP70 によるメラニン産生抑制、及び紫外線に対する皮膚保護

○水島 徹¹, 星野竜也¹, 松田 実^{1,2}, 山下泰弘¹, 間地大輔² (¹熊本大・医・薬,²再春館製薬所)

R17 アシュワガンダエキスは PKC 系シグナル伝達を抑制し、3 次元表皮モデルで色素沈着抑制効果を示す

○若林雄希¹, 保田康隆¹, 永田 武¹, 若松一雅², 芋川玄爾¹

(¹東京工科大・応用生物,²藤田保健衛生大・衛生)

R18 ヒトメラノサイトにおける UVB 照射による KIT 産生亢進メカニズム

○水谷友紀^{1,2}, 林 伸和², 芋川玄爾^{2,3}, 川島 眞²

(¹コーセー・研,²東京女子医大・皮膚,³東京工科大・応用生物)

11:30~13:00 昼休み (90分)

13:00～13:45 特別講演Ⅱ 座長：堀 公彦（花王）
「リンパ循環学から見た皮膚の美しさ与健康」
大橋俊夫（信州大・医・器官制御生理学講座）
河合佳子（信州大・医・器官制御生理学講座）

13:45～15:00 一般研究演題（V） 6題（発表8分、質疑4分）
座長：藤井まき子（昭和薬大）、世喜利彦（資生堂）

R19 皮膚毛細血管の加齢変化と桂皮の血管補強効果

○加治屋健太郎¹、大田正弘¹、杵村裕美子¹、ChungJin Ho²、高倉伸幸³、岸本治郎¹
（¹資生堂・リサーチセ、²ソウル大・皮膚、³大阪大・微生物病研）

R20 毛髪タンパク質フィルムを利用したパーマ液による損傷評価

○藤井敏弘¹、高山俊輔¹、伊藤弓子¹、渡辺智子²、川副智行²（¹信州大・繊維、²資生堂・リサーチセ）

R21 Calpain 活性抑制作用を有する植物抽出物の抗炎症作用の検討

○藤代美有紀、矢作彰一、岡野由利、正木 仁（コスモステクニカルセンター）

R22 皮膚賦活化剤によるニキビモデルマウスの毛穴への効果

○武蔵弥菜¹、中村なつみ²、秋山香織²、久保田芳樹²、横山朋典²、山口葉子^{2,3}
（¹TBCグループ、²ナノエッグ、³聖マリアンナ医科大・難病治療研究セ）

R23 リポソーム包含フラレンの抗酸化活性: UVA/B 照射下でのヒドロキシルラジカル消去活性、細胞死防御、β-カロテン退色防御効果

○加藤信哉¹、青島央江²、平良 光²、山名修一²、斉藤靖和¹、三羽信比古¹
（¹県立広島大・生命環境、²ビタミン C60 バイオリサーチ）

R24 オレイン酸添加系における両親媒性キトサン誘導体のゲル形成と化粧品への応用

荒井由佳利¹、北村和之¹、情野治良¹、藤原茂久¹、濱田和彦¹、○宇山 浩²、樫本真衣²、福島啓介²、辻本 敬²（¹ピアス・中央研、²大阪大院・工学研）

15:00～15:15 休憩（15分）

15:15～17:15 シンポジウムⅡ 「光老化の予防と対策最前線」
座長：松本義也（愛知医科大）、松本克夫（ポーラ）

1. 「光老化とエラスチン」 多島新吾（防衛医科大・皮膚科）
2. 「スキンケアによる光老化の予防」 天野 聡（資生堂・リサーチセンター）
3. 「メラニン輸送の分子メカニズム解明とその応用」 福田光則（東北大院・生命科学研究科）
4. 「皮膚科診療における光老化の治療」 笹屋晴代（近畿大・皮膚科）

17:15～ 閉会挨拶 次期会頭 中村陽子（湧永製薬）

入場無料

【併催：新企画】 市民公開セミナー 6月4日（金）18：00～ 有楽町朝日ホール
「紫外線から肌を守り、光老化を防ぐ」

開会挨拶 川島 眞（東京女子医大）

座長：川島 眞（東京女子医大）、堀 公彦（花王）

1. 紫外線から肌を守り、いつまでも美しく 川田 暁（近畿大・皮膚科）
2. 皮膚科でできる -最新シミ、シワ治療- 笹屋晴代（近畿大・皮膚科）
3. 日焼け止めの仕組みとその使い方 畑尾正人（化粧品工業連合会紫外線専門委員会委員長）
4. 総合討議 参加者と共に
閉会挨拶 堀 公彦（花王）